

No.	15-6-8	場所	高森町下市田 飯田線の弓矢橋	次世代への継承キーワード	
名称	飯田線弓矢橋とその下流の被災状況			構造物による減災	
災害現象	土砂流出			河川	南大島川
補足事項				支流	

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●被害状況の記録：
南大島川は濁流兩岸を決壊、奔流は牛牧坂溜池に突入之を決壊させ林広司氏宅附近一帯を流失埋没す。林広司氏宅半壊流失斎藤忠治氏宅半壊、竜西線橋梁流失、附近一帯埋没、木村正治氏宅流失、旧田村線橋梁流失、松下義雄氏宅流失、北原喜代治、小林定一両氏宅半壊埋没、久保田利男氏宅流失、久保田元治氏宅半壊流失、新井原地積水田一帯埋没（**座光寺河原を守るべく南大島川下流三ヶ所の下市田側堤防を座光寺消防団員故意に切崩し為に同河川の本流堤防を崩して新井原地積に流入損害を更に大に紙たる事実あり**）
（「災害の市田郷」災害日誌より）

●体験談：○○
今思い出してもぞっとする三十六年の六月二十七日午前二時、とつぜん大音響と、ともに私の家はいっぺんに流れてしまいました。なにがなんだかほんとうにむちゅうでした。
（中略）
私や、お母さん、お兄さんは、あっちこっち歩きまわってばかりいました。お母さんたちは、夜ねむれなかつたので、目がはれてしまいました。朝になったら、家は流れ、畑は流れ何もなくなっていました。
（「災害の市田郷」より）

記録



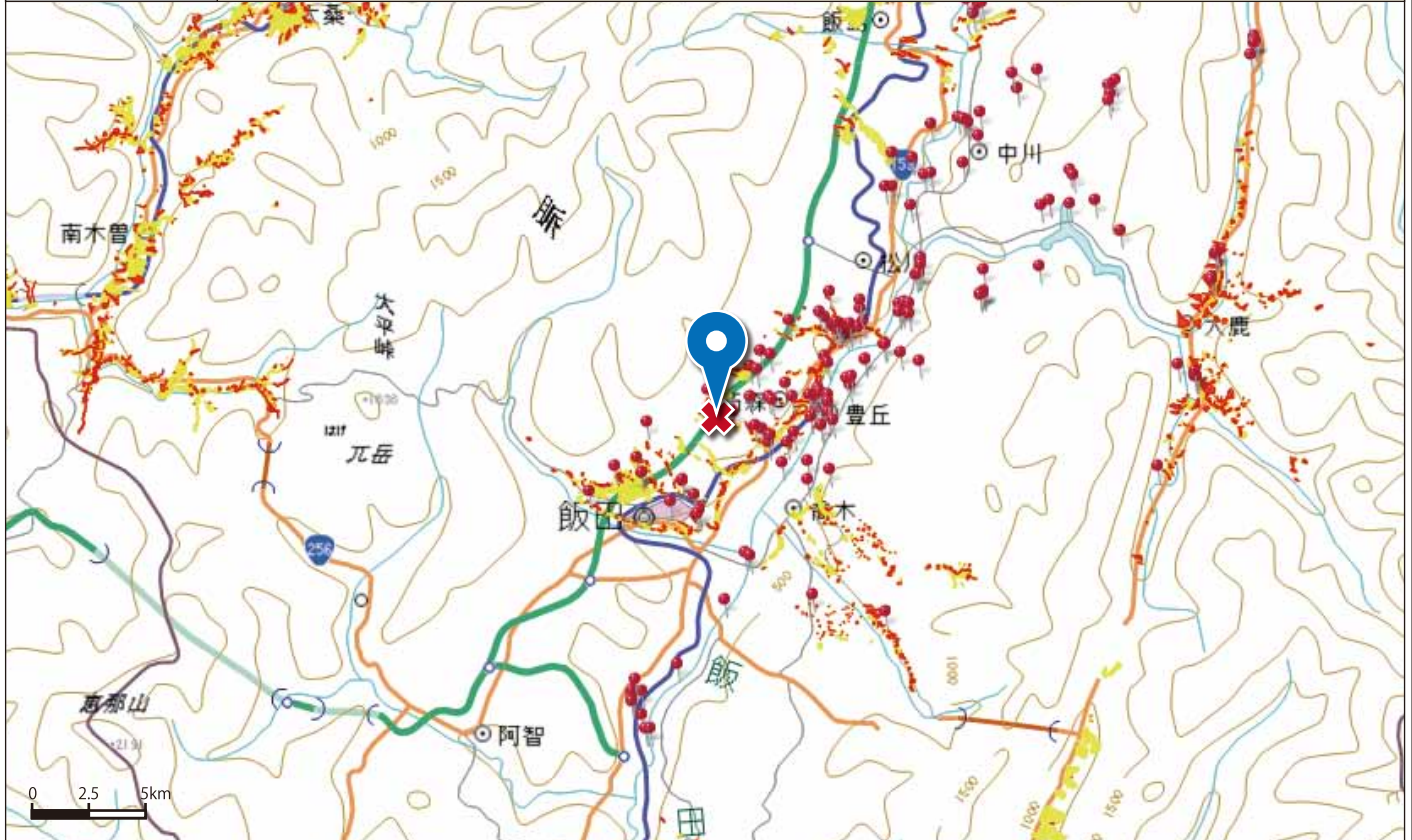
飯島飯田線弓矢橋とその下流の状況

出典	「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.19/「災害の市田郷」災害日誌 p.68				
備考					

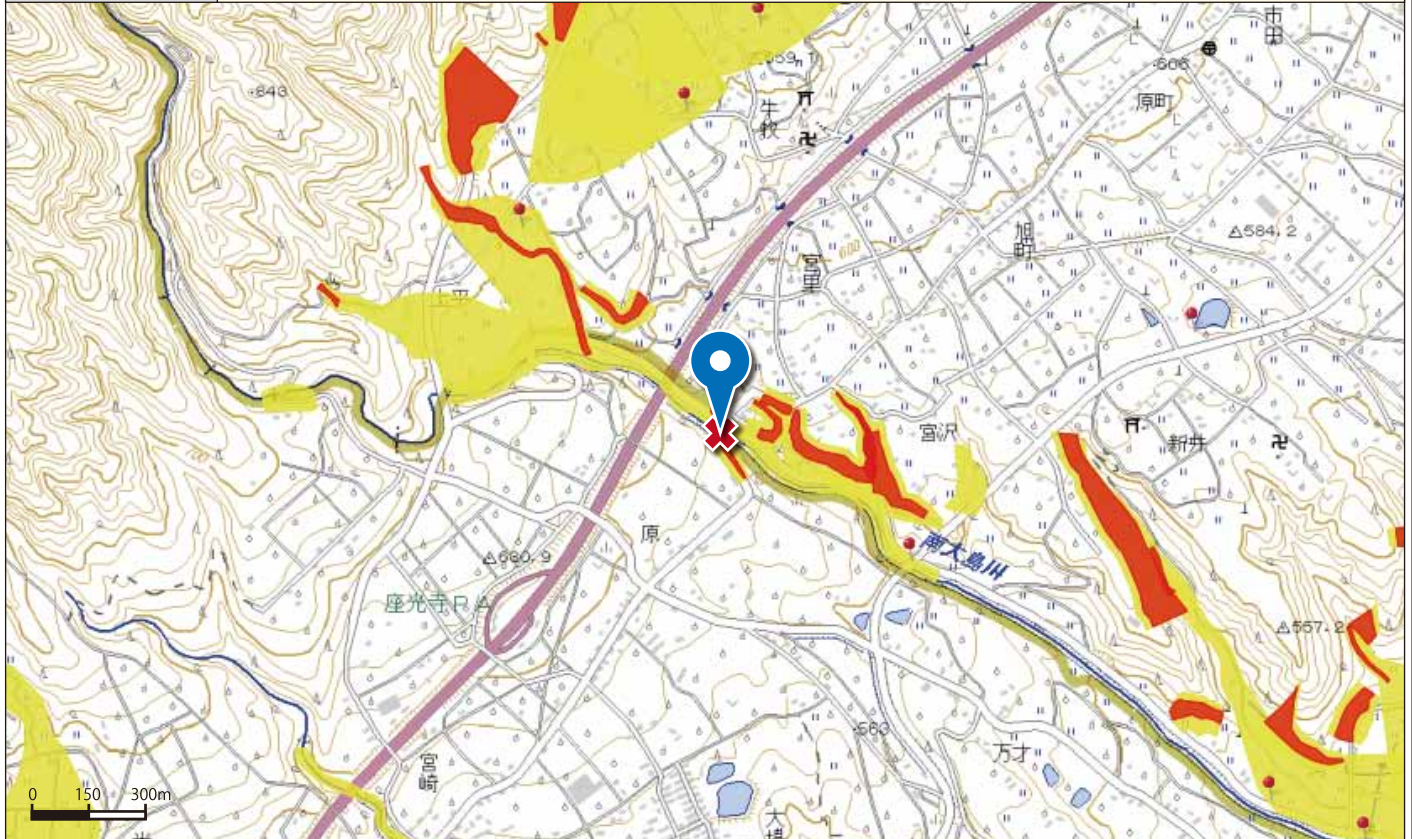
No.	15-6-8	場所	高森町下市田 飯田線の弓矢橋	緯度	35.547810
-----	--------	----	----------------	----	-----------

名称	飯田線弓矢橋とその下流の被災状況			経度	137.847798
----	------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。